

マンモグラフィの画質を考えるセミナー

よいマンモグラフィとは、画質と撮影技術と線量の要因が挙げられます。近年、日本乳がん検診精度管理中央機構（精中機構）の施設認定においては、特に画質に関して良い評価の画像が提出されず、不合格になる、あるいは再提出を要求される施設も多いと伺っております。このたび、ぐんまマンモグラフィ向上委員会では精中機構からのご提案を受け、精中機構ご協力のもとでマンモグラフィにとって大切な画質について学び、考えるセミナーを企画いたしました。マンモグラフィは乳がん検診の手段となっており、よい画像の提供は乳がん検診の信頼性向上と精度向上、ひいては日本人女性の乳がんの死亡率減少につながるものと思います。今回のセミナーがマンモグラフィを撮影する現場の技師が良い画像・良い画質を知るとともに、マンモグラフィ関連企業様のご参加をいただき、共にマンモグラフィについて考える機会となればと考えております。

開催日時：2024年10月6日（日）9時45分～17時（9時20分より受付開始）

会場：美喜仁桐生文化会館(桐生市市民文化会館)

群馬県桐生市織姫町2-5 第1・第2会議研修室

参加費：5000円（昼食代込み）

募集：100名（申し込み多数の場合は選考とさせていただきます）

申し込み締め切り：2024年8月20日（正午）

申し込み先：<https://forms.gle/yQ4vfNjBZR7mGuVr9>



申し込みQRコード

プログラム

1	オリエンテーション 開会のご挨拶	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	横江隆夫先生
2	施設画像評価の現状	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	堀田勝平先生
3	画質と線量の関係	東京都立大学	根岸徹先生
4	画像処理と画質の関係	株式会社ネットカムシステムズ	俣野公志先生
5	ランチョン企画 メーカーミニ講演		
6	DMQC-3dファントムによる画質の評価	ぐんまマンモグラフィ向上委員会	新井敏子
7	会場討論 ポジショニングが関係する画質	ぐんまマンモグラフィ向上委員会	藤田克也
8	画像評価	アドバイザー 堀田勝平先生	新井敏子
9	まとめ アンケート記入		

主催：ぐんまマンモグラフィ向上委員会

協力：NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構

後援：公益社団法人 日本放射線技術学会

協賛：コニカミノルタジャパン株式会社・キャノンメディカルシステムズ株式会社

富士フィルムメディカル株式会社・トーテックアメニティ株式会社

栗原レントゲン株式会社・株式会社スリーゼットソルベーション・株式会社六濤

シーメンスヘルスケア株式会社・(株)ネットカムシステムズ・ホロジックジャパン株式会社

庶務：TSメディカルサポート・マンモグラフィトレーニングスクール

施設認定で
画質が悪い
って・・・？

MMGの画質
って・・・？

参加者
募集中
8/20〆切

お問い合わせ先：ぐんまマンモグラフィ向上委員会 マンモグラフィトレーニングスクール

代表 新井 敏子

〒376-0045 群馬県桐生市末広町6-29

電話 090 2329 2845

メール atoshiko@chive.ocn.ne.jp

